

『長内川、久慈川』改善の取り組み

久慈地方振興局土木部

久慈市中心部を流れる 2 級河川長内川や久慈川は、長年の堆積土砂が進み、更には木が繁茂し、そこにゴミなどが引っかかっている状況です。街の景観はもちろんのこと洪水時の不安もあり、地域から改善要望が出されていました。

そこで、長内川周辺の 6 町内会に呼びかけ、更に関係団体も加わり、11 月 18 日（日）1 回目の木の伐採を協働で行いました。

今後は、年 2 回、春と秋に木の伐採、草刈等を行うこととしています。

平成 19 年 11 月 18 日（日）8 時～10 時 30 分

参加人数 62 名（6 町内会、滝ダム周辺環境美化協会、長内川・川の会、久慈市、当土木部）

作業範囲：約 250m 面積約 5,000m²、木の伐採本数 60 本



また、久慈川についても、現在、地元 10 町内会、くじ・川の会、久慈市に呼びかけ「久慈川のあり方を考える会」を開催し、これからの久慈川がどのようにあるべきか検討を進めているところです。また、この一環として 1 月 20 日、現地調査会を開催したところ約 60 名の方が参加。それをもとに自然環境、治水、生活環境の 3 つの分野に分け勉強会を 1 月 30 日に開催したところです。

このあと、3 月末まで勉強会で議論を深め、4 月から計画策定に取りかかり、秋ころの実施に向けて現在活動中です。



【現地調査会】



【勉強会】